広

していた方から喜びのお便り

が

届

あまマーレ感謝

開催した反響として、

当日

帰

今年度の地区支援事業は、



頭や踊りの調査、

練習のサポー

を行いました。

の開催に集落支援員も加わり、

音 り

数十年ぶりの多井地区盆踊

①多井地区の盆踊り復活

▲ 2017 年版知々井地区カレンダー

支援員が大きく入れ替わり、 く海士に来た支援員ばかりで活 地区住 りました。 いたり、地区から今年も開催した いという声が出たりするなどがあ

②知々井地区カレンダー制作

動スタートとなったため、

民の意見を聞いて地区を知ること

きました。 郷者などの島外の方にも、 か所で販売し、 のサポートを行いました。 動の励みになることを目的と て、 活動が形に残ることで今後の活 内での関わりが増えること、 、地区の風景を届けることがで カレンダー制作を通して、 2回目となるカレンダー制作 地区外の方や出 町内数 地区 地区 知

の地区活動に取り組みました。

取

錯誤しながら、

今年度もいくつか

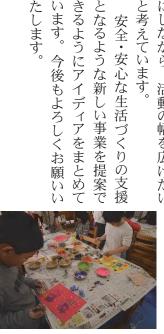
す。集落支援員同士で相談し試行

を目標の1つとして活動していま

り組みのうち、2つを紹介します。

来年度に向けて

と考えています。 にしながら、活動の幅を広げたい 地区へ伺った際に聞いた声を大切 来年度は、 集落アンケートや、



たします。



子どもたちが気 人が

たのが、 画しました。 作り」の3つのワークショップを企 セサリー作り」・「アートパネル いように、「スライム作り」・「アク ので、子どもたちが遊びに来やす なかった』という意見が出ていた どもたちが遊べるスペースが少 たワークショップです。前回は『子 まマー 天しました。 今回特に力を入れ 多世代交流が生まれるように工 (日) に行いました。 あまマーレの一 ・レ感謝祭」 小学生以下を対象とし 大イベント を、 前回同 2 月 様 12 \exists

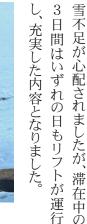
いきたいと思っています。 軽に遊びに来られる場所にして 的としながら、 ました。今後も多世代交流を目 加し、子どもの多い感謝祭となり ワークショップには約50

日々の集落支援員の活動を、インターネットで発信! Facebookページ更新中! www.facebook.com/ama14chiku

あまマーレのホームページができました! 貸切予約やイベント情報はこちらから http://ama-mare.com/

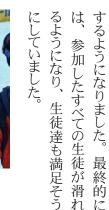
自主性と 最後までやり遂げる力を育む

②公共施設でのマナーや集団生活の で、 り復活し実施しております。 ①海士町では体験できないウインタ という2つのねらいのもと、 教室」を実施しました。これは ルールを学ぶ。 今年度は8名の参加となりました 1月6日~8日の2泊3日の日程 ースポーツの楽しさに触れる。 中学1年生を対象に、「大山スキ 昨年度よ





まずは転ぶ練習から



の整理など、自分でできることは自

研修施設であるため、

食事や布団

宿泊は「大山青年の家」でした。

うにもなり、難しいコースにも挑戦 第に、自分達からリフトに乗るよ ちに徐々に慣れていきました。

があった生徒たちも、

滑っていくう

リフトに乗る時は不安や恐怖心

校の岡野先生のご指導で、 がありませんでしたが、

ほとんどの生徒はスキーの経

海士中学 初めて



スキー指導の岡野先生



滑れるようになりました♪

時に就寝。と決まった時間に決まっ 用しているので、周囲に配慮しなが すことができました。 困惑しながらも、きまりを守り他の 集団生活に慣れていない生徒達は 17時半に夕食、 7時に朝食、 風呂掃除、 らの生活となりました。 分で行います。また、 他の団体も利 に行動をとることとなりました。 [体へ迷惑を掛けることなく過ご 寒さの中、朝は6時半に起床し 研修施設特有の流れに、 トイレ掃除を行った後 8時には出発。夜は、 20時半に入浴、

けることができたのではないかと感 う経験を「大山青年の家」で身につ 周囲の人のために行動するとい



思います。 安全に十分留意し開催していきたいと (中央公民館)

今回の反省をふまえ、来年度以降

足を反省しました。

ことも感じ、生徒達への事前の指導不 あり、こちらのねらいとの隔たりがある 由時間を増やして欲しい」との意見も し、「宿泊場所を代えて欲しい」や、「自 た」という回答がほとんどでした。しか

終了後のアンケートでは、「楽しかつ

